

衆議院國有林野法案外三件審查特別委員會速記錄

(第一號)

明治三十二年二月四日午後一時四十六分開議

○委員長(杉田定一君) 委員會ヲ開キマセウ

○(中樞廣太郎君) 御開ニ當リマシテ、チヨット私ハ皆サンニ御諮リヲ願ヒタイデスガ、此問題ハ御承知ノ如ク、頗ル重大ノ問題デアリマスカラ、本日ハ質問ニ止メテ、大體ニ附イテ政府ヨリ十分ナ説明ヲ聽キマシテ、サウシテ今日ハソレデ措クト云フコトヲ、先ニ御諮リニナッタラドウデアラウカト云フ考デアリマス

○(高岡忠郷君) 至極御尤ノ御説デアリマス、願ハクバ私ハ大臣ノ出席ヲ求メマシテ、林政ニ關スル政府ノ方針ヲ聽キ、國家百年ノ長計ヲ誤ラヌヤウニスルガ、最モ必要ト考ヘマスカラ、先ヅ大臣ノ出席ヲ求メルヤウニ致シタイ

○委員長(杉田定一君) サウシマス中樞君ノ御發議通、今日ハ政府委員ノ説明ダケニ止メテ置クコトニ、別段御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○(中樞廣太郎君) 尙ホ大臣ノ御出席ガ出來マスカドウカ、政府委員ニ御諮リヲ願ヒマス

○委員長(杉田定一君) ドウデセウ、大臣ノ御出席ハ……

○政府委員(藤田四郎君) 大體ノ方針ニ就キマシテハ、私ガ十分申述ベヤウト思ヒマスガ、尙ホ大臣ノ方ガ宜イト云フコトデアリマスレバ、出テ居リマスカラ相談致シマス

○委員長(杉田定一君) 出テ御出ニナルナラバ、御出席ニナルヤウニ御請求下サイ

○政府委員(藤田四郎君) ソレデ今大臣ノ方ヘ申シマシタガ、大體ノ事柄ニ就キマシテハ、政府委員カラ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、固ヨリ重大ノ事柄ニ就キマシテハ、大臣カラ述ベルコトモアリマセウト思ヒマス、ソレハ御承知ヲ願ヒマス

○委員長(杉田定一君) サウシマスト案ガ幾ツモゴザイマスガ、第一ニ國有林野法案ノ方カラ始メマスコトニ致シマス

○(高岡忠郷君) 是ハ山林ノ制度ノ方針ト云フモノガ、肝要デアルト思ヒマスガ、矢張吾々ハ質問シマスニモ、通ジテ質問シマス方ガ、便宜デアラウト考ヘマス、御異議ガナカッタラバ、サウ願ヒタイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(杉田定一君) 然ラバ通ジテ致シマス

○(首藤陸三君) 唯今提出ニナツテ居ルノハ、國有林野ト森林原野下戻法案ダケデゴザイマスネ、政府提出ハ

○政府委員(藤田四郎君) 左様デゴザイマス

○(首藤陸三君) ソレカラ尙ホ此頃藤田君カラ、伺ヒ置キマシタゴザイマスガ、山林原野ニ關スル特別會計ノコトニ附イテ、御提案ニナルコトヲ伺ツテ置キマシタガ、如何デスカ、併セテ社寺林ノコトハドウデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ全体ニ互リマシテ、私カラ申上ゲマシテハ如何デスカ、今御答申シテモ宜シウゴザイマスガ、大臣ガ來テ同ジ問題ヲ繰返スノハ、諸君モ御迷惑ダラウト思ヒマスカラ、後トデ申上ゲルコトニ致シマス

(曾禰農商務大臣出席)

○政府委員(藤田四郎君) 大臣モ出マシテゴザイマスカラ、私カラ一應申上ゲヤウト思ヒマスガ、大臣カラノ方ガ宜シクバ……

○委員長(杉田定一君) 全体ノ御希望ハ、矢張大臣ニ大體ノ御説明ヲ御希望ナサルノデゴザイマスガ、其様デスナ

○(高岡忠郷君) 詳細ニ政府ノ御方針ヲ御話ニナルト云フナラバ、政府委員ノ方デモ宜シイ

○委員長(杉田定一君) サウシマスレバ、ドナタデモ大體ノ御説明ヲ一ツ

○政府委員(藤田四郎君) 政府カラ提出セラレマシタル所ノ二法案、及議員ヨリ提出セラレタル所ノ法案等ニ附キマシテ、政府ガ將來執ル所ノ方針、即チ官林ノ制度ニ附イテノ方針ニ附イテ、大體ノ意向ヲ御承知ナサリタイト云フコトデゴザイマス、此國有林野法ト申シマスモノハ、詰リ今日マデアリマスル所ノ山林ノ制度ヲエラク根底カラ改革スルト云フ譯ザヤゴザイマセヌ、即チ此今日種々錯綜シテ居ル法律ヲ一ト纏メニシマシテ、尙ホ今日現行ノ法律ノ不備ナル所ヲ補フ精神ニ外ナラナイ、又下戻ノ法律ニ附キマシテモ同様デゴザイマシテ、是ハ地租改正ノ當時官民有ノ誤謬ノアリマシタモノヲ、訂正シテ民有ニ歸セシムルト云フコトニナツテ居リマスノデゴザイマスガ、之ガ何時マデ經ツテモ際限ナク出テ來ルコトニナリマシテハ、政府將來森林ノ經營等ニ附キマシテモ少ナカラヌ不便ヲ生ジ、又限リノナキ煩累ヲ來ス次第デゴザイマスカラ、固ヨリ是ハ即チ普通ノ民事ノ法律ニ依リマシテモ、財産ノ異動等ニ附キマシテ年限モアル通デゴザイマス、時効ノ如キハソレ……年限モアルコトデゴザイマスガ、先ヅ此問題ニ就キマシテハ、世間一般ニ下戻ノ事柄ノ出來得ラル、事柄ヲ知ツテ居ルノデゴザイマス、今此處デ制限ヲ附ケテモ、人民ガ後ニ至ツテ悔ヲ貽スコトハナイコトヲ確信シテ居ル、尙ホ二法案ニ就キマシテハ、實ニ中ニ於テ多少ノ異動ハゴザイマスケレドモ、大體ニ於キマシテハ政府ハ昨年度ニ於テ提出セラレマシテ、此提出セラレタル所ノモノニ種々ノ修正ヲ加ヘテ、衆議院モ通過致シタヤウナ次第デゴザイマス、當時貴族院モ通過ノ場合ガナカッタノデゴザイマスカラ、更ニ進ンデ此案ヲ提

出スベキデゴザイマシタガ、議院ハ解散トナリ、其他ハ臨時會ノ場合デゴザイマシテ、提出ノ運ビニ至ラナカッタガ今般提出スル場合ニ至リマシタデ、此林野法ノ精神ト申シマスルモノハ、即チ一方ニ於テハ官有財産ノ鞏固ヲ計リ、一方ニ於テハ不用ナル官有財産ヲ處分シテ、緣故ノアルモノハ其所ヘ拂下ゲ、或ハ又國家ノ經營上必要ナラザルモノハ、之ヲ地方ニ賣拂フト云フヤウナ道ヲ執リ、或ハ公共ノタメニハ、其土地ト云フモノヲ供スルノ道ヲ一層便利ニスル、又方法ヲ明カニスルト云フ趣意ニ出マシタノデ、尙ホ其中ノ逐條ノ事柄ニ就キマシテハ、段々ト御相談モ出來マセウ、尙ホ又御質問ニ依ッテ御答モシタイト思ヒマス、下戻法ニ於キマシテハ、是ハ官民有ノ即チ誤謬訂正デゴザイマシテ、即チ今改正及ビ社寺上地處分ニ依リマシテ、民有ノモノガ官有ノモノニナリマシタニ附キマシテ下戻ノ規程ヲ定メマシタモノデ、ソレニ對スル年限ヲ附ケタイ、其他内務ノ分ニ於キマシテハ、脱落等ノ始末ヲ附ケルニ付キマシテ規定デゴザイマスデ、國有林野法ニ於キマシテ社寺モ同様ニ、或ハ緣故拂下、或ハ又此保管ト云フヤウナ途ヲ取リ得ラル、方法モ、ソレノ規定シテゴザンスル、現行ノ規定ニ依リマシテハ、社寺ノ保管シ得ラル、規則ト云フモノハ、餘程範圍ガ窮窟ニナツテ居リマシテ、今日ニ於キマシテハ社寺ニ於キマシテハ單ニ副產物ノミヲ取リ得ラル、コトニナツテ居リマスガ、是ハドウモ段々其社寺ヲ維持スルタメニモ、亦森林ノ保護等ノタメニモ其主本等ヲ何レノ社寺ニ於テモ使用シ得ラル途ヲ取ル方ガ、却テ社寺維持ノミナラズ官林ノ保護ニモ宜イダラウト考ヘマスニ依リマシテ、其等ノ途モ取リ得ラル、ヤウニシタイト考ヘマス、大體此社寺ニ付キマシテハ、今數萬箇所ノ社寺ノ中其後世ニ於キマシテハ、重モナル部分ト云フモノハ、皆ナ存置ヲ要シナイ所ノ部分デゴザイマスカラ、是ハソレノ緣故拂下ノ手段ヲ探ルト云フヤウナ途ニナリ、又國家ニ於テ之ヲ維持シ國土保安上必要ナル部分ノ如キモ、又制度ヲ設ケマシテ保管ヲ社寺ニ依頼シ、且ツ主產物副產物共ニ其社寺ニ於テ收益シ得ラル、方針ヲ探ル途ニナツテ居リマス、出水君カラ提出ノ社寺法ニ付キマシテハ、昨日モ本會ノ場合ニ極ク簡單ニ一言致シマシタ通、政府ニ於テハ到底同意ガ出來ナイ、同意ガ出來ナイト云フ趣意ハ、外デモゴザンセン、御承知ノ通此社寺ト云フモノ、境内ノ如キハ、即チ制度ニ於キマシテモ、特別ノ制度ガアルモノデゴザンスルデ、今日此上地セラレタ所ノ社寺ヲ、出水君ノ提出セラレタル如キ趣意ニ依ッテ社寺ニ保管サセルト云フコトニナルノハ、取モ直サズ其上地林ト云フモノヲ社寺ニ與ヘテシマツテサウシテ與ヘタ上ニ租稅モ拂ハヌト宜シト云フヤウニスルノデゴザンシテ、即チソレ位ナラヤツテシマッタ方ガ、政府ニ於テハ宜カラウト思フ、即チ各歐羅巴ノ外國ノ歴史ニ於キマシテモ、死ンダ地面ト云フモノハ、即チ社寺ノ死ンダ地面ト云フモノニ付キマシテハ、年々段々ト歴史モアリマスノデ、是ハ皆サン御承知デモアリマセウガ、國ノ上ニ死ンダ地面ヲ段々増シテ往クト云フコトハ、惡イコトデアリマス、到底此等ノコトハ、

即チドウシテモ成ルタケ制限シテ往カナケレバナラヌ、一方ノモノヲ進ンデ、其社寺ノ方ニヤツテシマフト云フニ附キマシテハ、餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、即チ死ンダ地面ヲ作ルト云フコトハ、政府ハ死ンダ地面ヲ段々殖ヤシテ往クト云フコトニ附イテハ、政府ハ絕對ニ反對ヲスル趣意デゴザンスル、尙ホ其方法即チ社寺ノ保管ノ方法ニ附キマシテハ、政府ニ於テハ既ニ林野法ノ中ニ加ヘテ置キマシタガ、是ニ附テハ段々ト御意見モゴザンセウガ、政府ノ意見モ精細申上ダマスル積デゴザイマス、次ニ此藤金作君デゴザンシタガ、提出セラレマシタ所ノ國有山林原野整理處分ニ關スル建議案デゴザンスル、是ニ附イテハ昨日藤君カラ御話ノコトモ多少承リマシテゴザンスルガ、中ニ書イテアル事柄ノ是非ハ、唯今辯明スルト却テ煩雜ニ涉リマスカラ、別段申上ダマセヌガ、今日俄ニ斯ノ如キ大處分ヲ急ニ爲シ得ラル、カ否ヤト云フコトニ就イテハ、餘程ハザカシイ話デゴザイマシテ、即チ千參百萬町歩ノ原野及山林ト云フモノ、中ニ、要ラヌモノハ隨分アラウト思ヒマス、或ハ數百萬町歩ニ互ルカモ分リマセヌ、併ナガラソレヲ今日俄ニ調ベテ、ドシノヤルト云フコトニ附キマシテハ、餘程能ク調ベナケレバ分リマセヌデゴザンスル、政府ノ見所ニ於キマシテハ、國土保安ノタメニ、即チ森林經營ノタメニ、必要ナル所ノ山林ト云フモノハ、務メテ其増殖ヲ計リ、務メテ其保護ト云フモノヲ計ル方針デゴザンスルガ、其以外ノモノニ付キマシテハ、敢テ之ヲ官有ニ歸シテ、ソレヲ是非官有物トシテ存置スルノ必要ヲ認メテ居ルト云フ譯デハゴザンセヌ、併ナガラ此數百萬町歩ト云フモノヲ要ラヌト云フコトニ付キマシテハ、是ハ十分能ク調ベテ見ヌト決スルコトガ出來マセヌ、先達テ農商務大臣ガ本會ノトキニ、チヨット一言申上ダマシタノハ、此外ニ特別會計ヲ以テ森林ノ經營ヲスルコトニ付キマシテノ案モ、不日提出セラレ、デアラウト云フコトヲ御話ガアツタ、是ハ先刻首藤君カラモチヨット御話ガアツテ御答モ未ダ致サズニ置キマシタガ、此事ハ遠カラズ議會ニ提出セラレ、場合ニナルデゴザンセウガ、即チ其經營ノ方針ト申シマスルモノハ、是マデ調査シ得タル所ノ七拾五萬町步餘ノ、即チ政府ニ於テ存置スルヲ要セザル所ノモノガアリマス、此モノヲ緣故拂下、若クハ公賣處分ニ據リマシテ、賣却致シマシテ、其經費ヲ以チマシテ、今日國家ニ於テ保安上必要ナル所、森林經營ノ必要ナル所ノモノヲ増殖シ、保護スル方針ヲ取ラウト云フ趣意ノ法案デゴザンスル、ソレヲ致スニ就キマシテハ、凡ソ十年バカリノ即チ繼續費ヲ以チマシテ、ソレノ經營ヲ致ス方針ニナツテ居リマス、其上將來ニ於キマシテモ尙ホ又段々調査ノ上、或ハ又必要ナラザル部分ノ調査シ得ラル、コトデアリマセウガ、大體今日ニ於テ處分シ得ラル、所ノモノハ、先ヅ七拾五萬町歩ト云フコトニナツテ居リマス、山林ノ今ノ特別會計ノ法案ヲ行ヒマスニ附キマシテモ、尙ホ此國有林野保管法ト云フモノガ出來マセヌト云フト、賣却其他ノコトニ就キマシテモ、段々困難ガゴザンスルカラ、是非ハ其法律ヲ行ヒマスニ付キマシテモ、必要ナル所ノ案デゴザンス

ル、山林ノ經營ニ付キマシテ、政府ガ現ニ採ッテ居リマスル所ノ方法ハ、大
体斯ノ如キモノデゴザンヌルカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ、尙ホ詳細ノコト
ニ附キマシテハ、御尋ニ依ッテ御答ヲ致シタイ

○(開信之介君) 唯今御説明デ大體分リマシタガ、サウスルト云フト下戻ニ
關シテハ、地租改正其他ノ取調ノ時分ニ誤ッタモノハ改メ、是ハ誤謬訂正ト
云フヤウナコトデアリマスルガ、然ルニ此下戻法案第三條ニ「但第三者ニ對
シテ讓渡ノ契約ヲ爲シタルモノ又ハ云云」トゴザイマスガ、サウスルト此法
律ノ結果ハ、既ニ第三者ニ約束シタルモノニ附イテハ、此法律ト云フモノハ少シ
モ其者ヲ救フト云フコトガナクシテ、現ニ存在シタルモノダケニ、此法律ハ適
用スルト云フヤウニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ是マデ扱ヒマシタル所、又將來ニ於テモ既ニ
官ニ屬シタ後、開墾ヲ許可致シタトカ云フヤウナ場合ニ於テ、開墾ノ上ハ拂
下ゲルト云フ契約ガシテアル、斯ノ如キモノヲ下戻ス場合ニ於キマシテハ、
致方ガナイノデアリマス、即チ是ハ今日ニ於テ其當時カラ歸シタト云フコト
ノ趣意ヲ以テ、下戻スド云フコトニ扱ヒマセヌ、サウシマシタナラバ、限リ
ノナイコトデアリマスカラ……

○(中村彌六君) 私ハ一ツ御問ラシテ置キタイ、大體デゴザイマス、此國有
林野法ノ第二條ヲ見マスルト「國有林野ノ經營上國有トシテ保存ノ必要アル
モノ」ト云フ箇條ガアリマスガ、其大體ヲ私ハ伺ヒマス、此御趣意ハドウ云
フ政府ノ御考カ承ッテ置キマセヌト云フト、餘程迷ヒマス、私ハ第一一二點
ヲ御聞キ致シタイ、此日本ヲ三分シテ其一ニアル位ノモノデアアル國有財産、
ドノヤウニ安ク見テモ拾億萬圓ノ價ガアル、政府デ今後之ヲ專ラ國家デ所有
シテ御出デナサル御積デアリマスカタ云フト、モウ一ツハ國家デアラウト、
人民デアラウト、其如何ヲ問ハズ、專ラ森林ノ繁殖ヲ求メテ、此重大ナル不
動産ガ活キテ往クヤウニシテ往クノト、二ツノ別ガアラウト思ヒマス、ツレ
デ若シモ第一ニ繁殖ヲ求メル、國家ト人民トヲ問ハズ、繁殖ヲシテ森林ガ活
キテ往クヤウニシタイト云フ御考デアラナラバ、日本ノ今日ノ狀態ニ對シテ、
限リアル五百萬ヤ參百萬ノ金ニ困ッテ居ル政府デアラカラ、到底處分ノ目的
ハ立タヌニ依ッテ、詰リ成ルベクハ民有ニ歸シナケレバ、繁殖ハ出來ナイト
云フコトガ生シテ來テ、自然ニ此法律モ其積デ出來テ往カナケレバナラヌ、モ
ウ一ツハ專ラ國有ニシテ往クト云フ御考ナラバ、是ハドノ位ノ程度マデ國有
ニシテ往クト云フ御積デアリマスガ、他日之ヲ國家ノ財源トナスト云フ御積
デアラナラバ、法律ノ精神ハ成ルベク他日非常ニ國家ヲ補フヤウニシテ行ク
モノデアッテ、今日ノ中カラシテ民有ノ買上ゲモ、場合ニ依ッテ買上ゲナケ
レバナラナイ、又繁殖ノ大計畫モシナケレバナラナイ、併ナガラ同ジ國家
ノ所有シテ往クトシテモ、或程度ヲ極メナケレバナラヌ、唯十露盤ヲ取ッテ
モ合ハヌヤウナコトヲ民有ニ歸シタ所ガ、到底往ケルモノデナイカラ、國家
トシテ始メテ經營シ得ルダケノ區域ニ國有ヲ限ッテ往ク、斯ウ云フコトニ

ナッテ見マスレバ、是ハ國家ノ經營上ノ必要カラ、損益ト云フモノハマルデ
眼中ニナクシテ往カナケレバナラヌ、又モウ一ツ國家トシテ始メテ經營シ得
ルモノデアアルカラシテ、其程度ニ止メテ置クト云フナラバ、繁殖ト云フモノ
ハ民有ニ歸シテシマツテ、國家デナケレバ經營スルコトガ出來ナイ分ハ國家
デ持ッ、後トハ民有ニズンノ生産的ニ之ヲ計ラナケレバナラナイト云フ、
二ツデアリマスカラ、今日マデ國有林野法ト云フモノ、出テ來マスルガ、ド
ウモ大本ガ立チマセヌ、故ニ此法案ヲ見テモ、國有林野法ノ大體ノ上カラシテ
モ分ラナクナツテ來ル、先ヅ國有林野ノ經營上國有トシテ殆ド必要デアアルモ
ト、又國家デナケレバ始メテ出來ナイノト云フ經營上ノ必要カラ來ルモノ
ト、程度ガ非常ニ違ッテ來ル、又繁殖ダケヲ求メテ所有者ノ何タルヲ問ハヌ
デモ、生産的ニ往ケバ宜イト云フナラバ、殆ド此趣意ガ輕クナツテ往カナケ
レバナラヌ、ツレニ依ッテ中ノ條文ガ非常ニ違ッテ往クノデアアルカラ、今度
ハ特別會計モ出ル位デアアルカラ、之ガ定ッテ始メテ特別會計モ、ツレニ依
テ極メテ往カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、政府ハドウ云フ精神デ此案ヲ
出シタノデアリマスガ、其事ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 唯今ノ御尋ノコトニ對シテ申上ゲマス、政府ノ今
日取リマスル方針、即チ此法案ニモ顯ハレテ居リマス所ニ依ッテ申シマシタ
ナラバ、政府ハ今日官有ニ屬スル所ノ七百五十拾萬——六百萬町歩ノ山林及原
野ト云フモノヲ、皆持ッテ往カウト云フ固ヨリ考メナシ、又持ッテ往キ得ラレ
ルモノデナイダラウト思ヒマス、併ナガラツレナラ如何ニ之ヲ處分スルカト
云ヘバ、即チ必要ト認メザル所ノモノハ、或ハ賣拂モ致シマセウ、又國家經
營上ドウシテモ此森林ノ經營上、又國家ノタメニ保安上必要ナル所ハ、官デ
買入ル場合モアリマセウ、又交換スル場合モ起リマセウ、又町村ナリ町村ノ
字ナリ其他ノ地方ニ委託シテ、其官有山林原野ヲ保護サセルト云フ道ヲ取ッ
テ、即チ官民ノ便利ヲ共ニ計ルコトモ起リマセウ、詰ル所今日提出セラレ
タ法案ニ於テモ、矢張其趣意ヲ以テ固ヨリ之ガ一朝右左ト形ニ顯ハレル譯ニ
ハ往キマセヌガ、詰ル所ツレノノ道ヲ取ルコトニナリ、其結果トシテ政府
ハ損ニナル所デモ、保安上必要ナル所ノモノモアリマセウ、又民有トシテ年
年其原野——地面ニ對スル報償——償ヒヲ出ス必要モ起ルデゴザイマセウ、
右ノ様ナ趣意ニ依ッテ、此案ハ編制セラレテ居リマスカラ、唯今國土保安又
ハ國有林野ノ經營上、國有案ノコトニ附イテノ御尋モゴザイマシタガ、是ハ
即チ國土保安又ハ國家經濟上國有ニスルノ必要ト云フ趣意ニ依ッテ居ルノデ
ゴザイマシテ、別段即チ衆議院ニ於テ議決セラレタル——提出セラレタル趣
意ト反シテ居ル積デハナイノデアリマス

○(中村彌六君) チョット私ノ申上ゲタコトガ、御分リニナラヌヤウデアリ
マスガ、今御話ニナリマスル必要ナモノハ取ッテ置ク、或ハ不必要ナモノハ
追ッテ片ヲ附ケル、是ハ目的ヲ行フ手段トシテ、ドノ目的ヲ持ッテ行クニシ
テモ、此方法ヲ採ラナケレバナラナイト思フケレドモガ、私ノ御尋スルノハ

其方法手段ハナイノデ、元來前申シタ通ニ成ルベク此林ト云フモノハ、國家經營シテ國家特テ行カウト云フ考ト、サウシテ所有ハ何人ヲ問ハズシテモ、成ルベク此森林繁殖シテ生産的ニ行クト云フ方ヲ求メル、斯ウ云フドチラカノ方法手段ニ依ツテ、サウシテ其目的ヲ達スルニ就イテ、今交換シヤウトモ遣ラウトモ、ドノ方法ニ附イテモ、就イテ生レ來ル所ノ手段デアリマスガ、此二ツガ大體ニ附イテ往キマセヌト、法文ニ於テ先刻申ス通、餘程同シ文字デアツテモ非常ナ——千里ノ差ヲ生ズルダラウト思フ、ソレダケノ御問デスカラ、敢テ方法手段ヲ御問スルノデハナイ、全體ノ趣意デス

○政府委員(藤田四郎君) チョット私ハ急用ガアリマシテ、スツカリ要領ヲ得マセヌカラ、主任ノ官吏カラ御答致シテ宜シウゴザイマセウカ、若シ支ガアリマスレバ、モウ一遍御聽キ申サナケレバナリマセヌカラ

○(中村彌六君) 注意シテ聽イテ貰ハナイト困リマス、サウ輕々ニ聽カレテハ困リマス

(大臣カラ説明スベシト呼フ者アリ)

○(中村彌六君) ソレダカラ、大臣ニ向ツテ述ベテ居リマス——私ガモウ一遍……

○農商務大臣(會禰荒助君) ソレデハ私ガ御答致シマス、丁度アナタガ仰シヤル通ニ、今度ノ此案ヲ出シタト云フモノハ、此前出シタノト違ヒハセヌデス、アナタガ能ク知ツテ居ラツシヤル通デアル、丁度今アナタガ仰シヤル所ノ兩點ヲ含ンデ居ル、一ツハ世上ノ總テノ人々ト共々ニ、森林ノ經營ヲシテ行カウト云フ考ト、今一方ハ將來ニ國土保安ノミナラズ、將來ニ於テハ此森林カラ、大イナル利益ヲ擧ゲテ、森林ノ利益ト云フモノヲ見タイ云フ、此兩天秤ヲ引掛ケテ居ルノデス、此案ハ——ソレデ此國家ノ所有シテ、是カラ何年經テバドウナル、何年ノ後ニハドウ云フコトヲスルト云フ計算マデ——アナタハ疾ニ御存知デアアラウガ、ソレマデ立テ居ル、ソレハ今ノ特別經營ノ方デ出マセヌケレバ、此案バカリデハ分リマセヌ、中村君ハ此案ハ能ク御承知ノコト、思ヒマスガ、兩方ニ掛ツテ居リマス

○(中村彌六君) チョット伺ヒマス、兩方ニ掛ツテ居ルト仰シヤイマスルケレドモ、ドウモ手段トシテ兩方ニ掛ツテ居ルカ知レマセヌケレドモ、兩方ニ掛ルコトガ出來ナイト思フ、サウ云フ案ナラ、チットモ譯ノ分ラヌ案ニナツテシマフ、ナゼト云フト此廣イ七百五十拾萬町歩ノ森林ト、六百萬町歩ノ原野ト云フモノハ、成ルベク生産的ニシタイト云ヒ、即チ是ダケノモノヲ生産力アラシメヤウト思ツタナラバ、其方ノ趣意カラ行ツタナラバ、政府ニ於テ餘リ植エル金モナイ、開墾スルダケノ費用モナカッタナラバ、サツサトソレダケノモノハ民有ニ歸セシメテ、樹ヲ植エルナリ開墾スルナリ、少シモ金ノ餘計ニ這入ル方ノ方針ヲ採ツテ行カナケレバナリ、サウスレバ今ノ權限ニシテモ其方針ナラバ、或ハ議會ノ方デハ十分ニ遣ラネバナラヌト云フ考ガ起ル、或ハ又一方ノ方デアツテ、是ハ國有ニシテ置テ、他日國家ガ山林ノ

コトハ經營スル、原野モ國家デ始末ヲスルト云フコトデアツテ、唯今日ノ如クホリコンデ居ルト云フコトナラバ、此法律ヲナンスルト共ニ、國民ノ方デハ少クトモ年ニ五百萬ヤ六百萬ノ殖樹費ト云フモノト、豫算ヲ與ヘナケレバ之ヲ行フコトガ出來ヌデス、一萬町二萬町言ツテモ、五十年ノ星霜ヲ經ナケレバ目的ヲ達スルコトハ出來ナイカラ、兩方兼テ行クト言フコトハ出來マスマイ、大體ニ於テドチラニ重キヲ置イテ、此法律ト言フモノハ出來テ居ルモノカ、今言フ通誰デモ構マハナイ、日本ノ國ノ林ハ木ガ殖エ原野ガ開ケテ往ケバ宜イト云フコトナラバ、政府ハ金ニ困ツテ居ルカラ、成ルベク縣ナリ郡ナリ町村ナリニ對シテ、此原野ト云フモノヲ多少證據ト云フモノガ——コンナムヅカシイ證據デナクツテモ、ズン／＼ヤツテシマツテ開墾サセル、斯ウ云フコトガ起ル、國有ノ專ラ國家ノ方デ持ツテ行クト云フナラバ、此下戻法案ト云フモノヲ嚴格ニシテ行ク、スルトコチラノ方デハ、農商務省ナラ農商務省ニ對シテ、廣大ナル豫算ナラ豫算ト云フモノニ、協賛ヲ與ヘナケレバナラヌ、又法律ニシテモ斯ウ云フ結果ニナルカラ、兩方引掛ケテ俗ニ酒下地デ汁粉ヲ拵ヘルト云フヤウナコトハムヅカシイデアラウト思フ

○農商務大臣(會禰荒助君) 御尤デス、丁度今仰ツシヤル通、經營案ト云フモノハ出來テ居ルデス、特別會計ニ於テ遣ルト云フノガ、矢張減相アルデス、之ガ唯其國有林野盛ニスルバカリト云フ案デヤ實ハナイノデス、又アナタノ仰ツシヤルヤウニ誰デモ宜イカラ、民有ニ皆シテシマフト云フ方ノ精神デ拵ヘタノデモナイ、證據ノアルモノハ當然下戻シテ遣ラナケレバナラヌ譯デアアル、證據ノナイモノデ、國家ガ持テ居ツテモ持切レヌ、本當ノ仕事ガ出來ナイ、此豫算ニ合セテ見テ出來ヌト見タラ、此兩法案ハ總テ整理ヲ致ス方ニ極メタノデス、ソイツガ矢張一方ニハ、國有ノ方カラ參リマスルト、將來山林カラ上ル所ノ大イナル利益ヲ有スルト共ニ、一方ニ又ソレダケノ大經綸ヲシテ、其手ノ届カヌダケハ人民ニ遣ル、斯ウ兩方ニ掛ツテ居リマスカラ、ハッキリシテシマヘト云ヘバ無理デヤアナイカト思フ、現在兩方ニ掛ツテ居ルノデス

○(中村彌六君) ソコガ少シ尙ホ伺ツテ置カナケレバナリマセヌノハ、今ノ御話デアリマスルト、國家ガ持切レヌヤウナモノヲ持ツテ居テモ、ソレダケノコトノ出來ヌモノハ、國有土地山林原野下戻法案トシテ出來タト云フ御話デアリマスガ、是ハ私共ノ方ハ少シモ關係ガナイト思フ、國家ガ必要デアラウガ、ドノヤウニ必要デアラウガ、ソレニハ一向關係ガナイ、下戻法案ト云フモノハ、人民ノ權利トシテ貰ハナケレバナラヌモノデスカラ、國家デ必要不必要ト云フコトノ關係ハ更ニナイ、是ハモウ人民ノ權利トシテ、貰ハナケレバナラヌト云フ法案デアルカラ、政府ノ御都合ト云フコトハ、更ニ關係ハナイノデス、ソレ故ニ是ハマルデ別ノコト——ケレドモガ權利ヲ許ス程度ニ於テ其方針ニ於テ、尙ホ此内部ニ於テハ、將來ニ斯樣ナ證據ガナケレバ許サヌ、斯樣ナ證據ガナケレバナラヌト云フコトニ極メデアリマスケレドモガ、

此方針如何ニ於テハ、即チ明治ノ地租改正ノ初年ニ逆ッテ、改正當時ニ逆ッテ見レバ、其時ニハ隣保保護サヘスレバ、證據ガナクモヤッタト云フ位ノモノデアリマスカラ、其時ノ精神ニ基イタナラバ、從來ノ習慣慣行成績ト云フコトヲ顧ミテ、之ヲヤルコトモ出來ヤウ、サウ云フコトニナルト、此範圍ガ大變ニ廣クナリマス、大體ニ附イテ私ガ質問シタ要領ヲ得ヌデ、残念デアリマスガ

○(戶狩權之助君) 私モ中村君ト同シヤウナ質問ニナルカモ知レマセヌガ、一体此下戻法ノ第二條ヲ見マスルト「下戻ノ申請ヲナス者ハ第一條ノ事實ヲ證據スル爲少クモ左ノ書面ノ一ヲ添付スルコトヲ要ス」トナッテ居リマス、斯ウ云フ證據物件ガナケレバ許サヌ、斯ウ云フ證據ガアレバ下戻スト云フ法案ニナッテ居ル、是マデノ標準ハドウ云フモノヲ以テ成立タモノカ、コレガ分レバ、大體ハ是マデ通ニ政府ハ同シ方針ヲ取ッテ、是マデノ手續ニ依ッテ、證據ノアルモノハ下戻スト云フナラバ、唯人民ノ迷ハヌヤウニ、コレノ證據サヘアレバ下戻スト云フ御方針カ、コレヨリ稍々一步進ンデ、今ノ下戻制度ハ實際持チ切レヌカラ、モウ一步進ンデ範圍ヲ擴メテ、成ルベク人民ニ下戻スヤウナコトニナルカ、其範圍ガ是マデノ通ニ、證據物件ガアルモノヲ以テ下戻スト云フコトノミナラバ、何ニモナラヌノデアッテ、少シモ是マデノ政府ノ方針ト變ルコトハナイノデアリマスカラ、ソコハ私ハ此第二條ニ依ッテ、是マデノ標準ハ是ト違ッテ居ッタカ、是同シデアッタカ、コレヲ是ニ明ニ茲ニ揭ゲタト云フコトデアルカ、此第二條ニ附イテ御説明ヲ受ケレバ、自ラ分ルト思ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 下戻法ノ下戻スル場合ニ附キマシテ、如何ナル種類ヲ下戻ス、如何ナル種類ヲ下戻サヌカト云フコトデアリマシタカラ、ソレハ中村君カラ、其事柄ガ社會ニ出テ來ルト云フ御質問モアツタヤウデスガ、今日マデ扱ヒマシタ所ト、此法律案ニ依ッテ下戻得ラル、所トハ同シデアリマス、即チ成績慣行ト云フヤウナ慣行ト云フ字ハ色々アリマスガ、先ヅ事柄ニ依リマシテハ、下戻スト云フコトデハゴザイマセヌ、國有林野法ニ依リマシテハ、ソレ等ノ所ノモノハ、特別緣故拂下ト云フコトハ致ス方針デアリマス、然ラザレバ或ハ委託シテ行クトカ云フヤウナ方針ヲ取リマスガ、下戻スト云フコトニ附イテハ、兎ニ角慣行ト云フヤウナコトデ、隣保一二ノ保證ニ依ッテ下ゲルト云フヤウナコトハ、致サヌト云フ方針デアリマス、又國家ト雖モサウ云フ方針ヲ取ラナケレバナラヌト思ヒマス

○(島山雄三君) 今此中村君ノ御問ニ附イテ、大體大臣ヨリモ御答辯ヲ拜聽致シタノデアリマスガ、サウスレバ此國有林野ハ矢張是マデノ通、概シテ國有トシテ置ケレドモ、是モ將來ノ經營ニ對シテ、筆モ小サイ所ヤ、國有ニシテ手數ノ煩雜ニ涉ルト云フ所ハ、整理上或ハ拂下ルカ讓與スルカ交換スルカスルケレドモ、國有林野ノ全体ハ、矢張是マデノ方針デ、政府ハ更ニ繁殖ヲ計ルト云フ御趣意ト思ヒマスガ、サウ云フ御趣意デアリマスガ——是マデトハ違ッ

タコトハナイ、唯整理上小サイ筆ナドハ多少ヤッテ行クト云フコトニ伺ヒマシタガ……

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ是マデト運ビ具合ニ於テノ緩急ハゴザイマスガ、精神ニ於テハ大シタ違イハゴザイマセヌ、固ヨリ今日ニ於テモ要ラナイモノハ、ソレノ賣ルト云フ道ヲ採ッテ居リマスシ、又貸與ヘル道ヲ採ッテ居リマスカラ、今日法律ガ出來マシタノハ稍々運ビガ早ク、今少シ都合能ク運ビ得ラル、道ヲ採リ得ラル、ダラウト云フコトガアリマス

○(關信之介君) 私ハ第一條ノ第二項ニ附イテ「前項ノ期限ヲ經過シタルモノ又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノハ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス」斯ウ云フコトガゴザイマスガ、サウ致シマスガ、先キニ出タトキニ證據ヲ備ヘテ出願シタガ、是ハ許スベカラザルモノト云フ處分ヲ受ケタルモノハ、再ビソレガソレヲ確ムルダケノ證據ガ出來テ、ソレヲ以テ申請シタ場合ニモ、矢張一度處分ヲ受ケタルモノハ、再ビ申請スルコトハ出來ナイト云フコトニナリマスガ、或ハ新ナル證據ガ出タトキハ、一度處分ヲ受ケタルモノデモ、申請シタ場合ニハ、相當ノ御詮議ガアルモノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 第一條ノ二項ハ、即チ既ニ一旦開居ケ難イト云フ處分ヲシタモノニ附イテハ、同シ有様ニ附イテハ、再ビ詮議スルコトハ出來マセヌ、併ナガラ其以外ニ於テ新ラシキ證據ヲ見出シテ、法律ノ道ニ依ッテ出テ來マシタトキハ、ソレハ處分ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス

○(關信之介君) サウスルト茲ニ新ナル證據云々ト云フコトガナクテモ、矢張此明文デ其事ガ出來マスカ

○政府委員(藤田四郎君) 當然サウデゴザイマス

○(高岡忠郷君) 此處ニ此法案ヲ定メマスルニハ、大體ノ曩キニ中村君ガ御質問ニナッタ骨子ヲ定メマシテ、國家ノ前途ニ有益ナル仕事デアリマスカラ、サウ云フコトニシナケレバナラヌ、所ガ今大臣ノ御演說ヲ聞キマス、別段ニ御方針ハアッテモ、一口ニ云ヘバナイト云ッテ可ナルモノト思ヒマスガ、御方針ハナイコトデアリマスマイガ、今日ハ方針ハ立タヌモノデアアル、併シ察スルニ此處ニ國有ノモノト下戻ノ二案ヲ立テレバ、此二案ニ依ッテ自カラ國有ニ歸スルモノト下戻ニナルモノトガ生ジテ來ル、其場合ニ於テ尙ホ國有ニシテ往ク法ヲ立テルコトニシテ可ナリト云フ御話ノヤウニ聞キマスガ、併シ今日マデ幾多ノ變遷ガアッテ、國民一般ガ殖林シテ居ル所ハ必要デアルト、萬口一定ノヤウニナッテ居ルケレドモ、ソレハ口ニ言フノミデ、行フ所ヲ見ルト追々ニ皆濫伐シテ樹木ヲ切ラスト云フヤウニナッテ居ル、之ヲ如何シテ此惡弊ヲ挽メテ、今日ニ於テ大イニ前途ノ方針ヲ立テルト云フコトガ、當局者ノ決心之ニアルト思フノデアリマス、左様致シマス整理セラレタ以後ニ附イテ見マシテモ、詰リ殖林一方ヨリ寧ろ濫伐ノ方ガ、偏ニ重クナッテ來マシタカラ、事實ニ於キマシテハ皆本ガ無クナルト云フコトハ明カデアルト思フノデアリマス、彼ノ地租改正以後屢々人民トノ間ニ事ガ生ジテ居ッテ

モ、今日マデ農商務省ノ調停ニ依ッテ、狂商ナドガ一ツニ纏マッテ處分セラ
ル、コトガ出來ヌト云フコトモ、畢竟大體ノ方針ガ定マラスカラ、濫ニ處分
シテ誤リガアツテハナラヌト云フノデ、遂ニ當然人民ノ手ニ渡シテ、殖林ノ
計ヲ爲スベキモノスラ、計畫ヲスルコトガ出來ヌヤウニナツテ居ラウト思フ、
然ラバ宜シク當局者ハ活眼ヲ開イテ、將來國ガ持ッテ居ッテモ民有デアツテ
モ、殖林ノ事實ガアルト云フヤウニシタナラバ、有數ノ官吏ヲ以テ之ヲ監督
シ、殖林サセルト云フコトニシテ見タ所ガ、矢張費用ガ償ハヌカラ、詰リ人
民ト負擔ト相俟ッテ、之ヲ爲スコトニナツタナラバ、利益ヲ得ヤウト思フ、
シテ見ルト成ルタケ人ニ持タセルノガ必要ト思ヒマスガ、今日ノ所デハ、
官有ト民有ト半分ニナツテ居ラウト思ヒマスガ、民間ニ附イテモ取締ノ方法
ガ出來ナケレバナラヌト思ヒマス、例ヘバ伐木シタラ其跡ニ植付ヲサセルト
カ、或ハ伐木スル期節ハ、此時期ニ至ラナケレバ伐ラセヌトカ云フコトハ、
民有ニ於テモ相當ノ制裁ヲナシテ宜カラウト思フ、サウスルト國ハ國ノ殖林
ノ方法ヲ以テ進ミ、民有モ亦濫ニ伐ッテ跡ヲ構ハズデ置クコトハ、出來ヌト
云フヤウニナラナケレバ往カヌト思ヒマスガ、一體民有ニ對スル取締ノ方法
ニ就イテハ、如何ナ御考デアリマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 唯今高岡君カラ、御尋デアリマスガ、農商務ニ於
テハ、無方針ト云フヤウナ意味合ノ御話デアリマスガ、決シテサウ云フコト
ハゴザリマセヌ、大イニ方針ガアリマス、唯其方針タル濫ニ變更シナイカラ、
大イニ目立ナイ、併シ此案ヲ提出スルニ附イテモ、尙ホ一層此方針ヲ實行サセ
ヤウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、官有ノ地面モ固ヨリ今日ニ於テ、一千參百
萬町步持ッテ居ラナケレバナラヌト云フ趣意デハナイ、時期ヲ見テツレ等ノ
山林ノ處分ヲスル方針ヲ執ラナケレバナリマセヌガ、今日官有デアアル原野ヲ
決シテ植附ヲ怠ッテ居ルト云フコトハナイ積デス、固ヨリ多數ノ中デ、植附
ガナイカ、盜伐ガアツタトカ云フヤウナコトモアリマシタロウガ、大體ニ於
テ怠ッタコトハゴザリマセヌ、今日デモ植附ヲ致シテ輪伐ノ制度ヲ用井テ、
エライ不都合モ見ヌデアリマス、併ナガラ更ニ一層進ムニ就イテハ、無論
怠ラヌヤウニ致ス積デ、民有ノ山林ニ附イテモ無論拓伐ヲシタラ、其跡ニ植
附ヲサセルト云フ制裁等ノ御話モゴザリマシタガ、是ハ法律トナツタ森林法
ニ依ッテ、國土保安ニ必要ナモノ、處分、其他一般森林ニ附イテノ監督モ、
ツレノ規定ガ出來テ居ルカラ、固ヨリ寬嚴其時ヲ見テ致サナケレバナラヌ
ガ、大體普通民有ニ附イテ、監督ノ途ヲ採ルコトニナツテ、既ニ法律モ出來
テ居リマス

○(島山雄三君) 此原野ニ就イテハ、矢張是マデノ大小林區ト云フヤウナ方
法ヲ採ラル、カ、或ハ輪伐ト云フコトハ、是マデ御實施ニナツテ居ルヤウデ
アリマスガ、アレハ大林區署毎ニ輪伐ノ年數ニ差ガアリマスガ、又ハ全國同
一ニ輪伐ノ制度ヲ定メテアルカ、是マデノ様ナ方法デハ盜伐濫伐ノ取締ハ、ナ
カノ行届キ難カロウト思ヒマスガ、將來ハ取締上別段ノ方法デモ御用井ニ

ナルカ、或ハ從來ノ通デアアルカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君) 山林ノ輪伐ニ就キマシテハ、年々施業案ヲ編成シ
テ、ツレニ依ッテ輪伐ヲシテ居ル、大體ニ於テ山林ノ種類ガ、矮林ト喬林ト
アツテ、樹ノ壽命ガツレノ定ッテ居ルカラ、ツレノ年々ニ割當テ、伐ッテ
往クノガ、大體ノ方針デ、ツレニ依ッテ農商務ハ施業案ヲ編成シテ、而シテ
伐ッテ居ル、次ニ盜伐濫伐ト云フコトハ、既ニ施業案ニ依ッテ輪伐シテ居リ
マスカラ、濫伐ノ支ヘナイ積デス、又盜伐ニ就イテハ森林法ナリ普通刑法
ニ依ッテ、處分スルヨリ外ニ仕方ガナイノデ、固ヨリ政府ニ於テモ特ニ森林ノ
官吏モ保護シ、普通警察官モ保護ヲスルコトニナツテ居ルカラ、其上ノ始末
ハ致サヌ積デス

○(佐々木正藏君) 下戻案ノ趣旨ニ附イテ、一ツ御尋ラシテ見タイト思ヒマ
ス、下戻法案ノ第二條若クハ第三條ニ依ッテ見ルト、是マデ衆議院ノ方デ
屢々法律案ヲ提出シテアル方針ニ依ッテ見レバ、下戻ヲナシ得ル權利ヲ法律
ニ列記法ヲ以テ明カニ示スト云フコトガ、方針ニナツテ居ルヤウデス、然ル
ニ此第二條第三條ヲ見ルト、下戻ヲ請求シ得ル權利ヲ茲ニ示スト云フコトデ
ナクテ、唯手續ヲ茲ニ示スト云フヤウナコトニナツテ居ハシマイカト思フ、
必ズシモ此第一ヨリ第六ニ概括スル書類ヲ出シタ以上デハ、必ラズツレガ眞
正ノモノナラバ、所有權ハアルモノデアルト云フ此法律ニ明記シタト云フ譯
ニハ至ッテ居ラヌヤウデアアル、即チ第三條ニ依ッテ十分認メタトキハ、ヤ
ルト云フノデ、或ハ十分不十分ト云フコトハ、第一ヨリ第六ニ明記シテアル
證據ヲ出シテモ尙ホ認定權ハ其當局者ニアルト斯ウ見ネバナラヌ、其趣旨ガ
是マデ衆議院杯デ、此列記法ヲ始終出シテアル趣意ヲ見テ見ルト、權利ヲ占
メテ是マデ、アレバ、必ズ引戻シ得ル權利ガアルモノゾト云フコトノ權利
ヲ示スモノト、唯手續法ヲ茲ニ記載スルト云フ、此僅ナ文字ノ書キ方デ、非
常ナ差ヲ生ズルダラウト思フ、ツレデ此發案サレタ趣意ハ、手續法デア
ルカ、若クハ其權利ヲ明ニスルタメニ茲ニ列記スルト云フ趣意デアアルカト云
フコトニ附イテ疑フ、果シテ手續法ト云フ意味ニナレバ、寧ロ法律ノ必要ハナ
イヤウニナツテ來ルデラウト思フ、丁度一昨年ノ何月カノ省令十三號見タヤウ
ニ、民有ノ證アルモノハ云々、斯ウ云フ風ニアツテ、或ハ省令或ハ勅令デ、此
手續ヲ示サレタモノト思フ、畢竟此下戻ニ關スル法律ノ必要ヲ云フ以上ハ、
權利ヲ明ニ茲ニ列記法ヲ以テ示ス方ガ、趣意ニナツテハ居ナイカ、ケレドモ
之ヲ見ルト殆ド手續法ト云フ方ニナツテ居ルヤウニ、チヨット見受ケルノデア
リマスカラ、此趣意ノ見所ハドチラデアアルカト云フコトヲ御尋申シタイ

○政府委員(藤田四郎君) 第一條第二條第三條ニ就キマシテ、法文ノ書キ具
合ニ依ッテ權利カ手續カト云フヤウナコトノ方ノコトカラ、御尋問デゴザン
スルガ、是ハ衆議院ニ於テノ案ニ於キマシテモ、亦政府ニ於キマシテ一々調
査シタ所ノ案ニ於キマシテモ、書キ工合ハ稍違ヒマスルガ、大體ノ趣意ハ
固ヨリ此第一條ニ於キマシテ、申請權ト云フモノハ得ラレシマフ申請

權ヲ得ラレタ以上ハ、從ッテソレニ依ッテ、即チ銘々ノ利益ヲ保護スルノ途ハ、之ニ依ッテ保證セラレテアルノデアリマス——保證セラレテアリマルガ、第二條ニ於テハ或ハ佐々木君ノ御考デハ、必ズソレハ下戻シセヨトカ、何トカ云フ工合ニナッタラ、或ハ御満足セラレルカ知レマセヌガ、詰リソレハ第一條ノ保證ト云フモノガアリマスカラ、何レニ書キマシテモ同シ事柄デゴザイマス、唯今日ソレヲサウ云フヤウニスルニ附キマシテノ困難ト云フモノハ、現ニ是マデアリマス所ノモノニ附キマシテ、民有ノ證左ガアルモノニシテモ、既ニ他人ノ手ニ渡ッタモノヲ、或ハ下戻シ即チ權利トシテ得テシマフト云フコトニナッタナラバ、或ハソレニ對スル權利義務共ニ、此地租改正以來今日マデノ事柄ヲ繼承スルト云フコトニナリマシテ、政府ニ於テモ困難ノミナラズ、下戻ヲ受ケル者ニ於テモ困難ヲ感ズルノデアリマスカラ、殆ド實際ニ於テ行ヒ得ザル所ノモノガ、多分ニ生ズルノデアリマス、ソレガタメニ此書キ工合ニ於キマシテハ、即チ第二條ノ如キハ特ニ注意ヲシマシテ、斯ウ云フコトニナリマシタ、併ナガラ其申請ノ權利ニ依ッテ其利益ヲ保護スルノ保證ハ、第一條ニ明カニナッテ居リマス、決シテ是ハ單純ニ手續ヲ極メタバカリデハアリマセヌデゴザンスルガ、詰リ之ヲ法律デ出サナクテモ宜イヂヤナイカト云フコトデゴザンスルガ、ソレハ出サシム支ヘハゴザンセヌ、ナゼナレバ今日ニ於テモ此通ヤッテ居リマスカラ、支ヘハゴザンセヌケレドモ、併ナガラ此法律ヲドウシテモ出ス所以ト云フモノハ、即チ之ヲ凡ソ制限ヲ附ケル、即チ期限ヲ定メルトカ云フコトニ附イデ、必要ヲ認メマスカラ出シマシタデ、一番初メ政府デ提出致シマシタトキニハ、單ニ期限ダケヲ提出シタコトガアリマシタ、議會ニ於テ是等ノ手續等モ加ヘラレルヤウナコトニナリマシタ結果ニ及ビマシテ、政府ハ議會ノ希望等ヲ斟酌致シマシテ、尙ホ斯ノ如クニナリマシタ

○(津野常君) チョット私モ御尋致シマス、此森林原野下戻法案第一條「地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入云々」トアリマス、地租改正ノ際民有地タルモノガ、其後官林境界調査ノ際、無理ナルコトヲ以テ官有ニ組入レタトカ、斯ウ云フ部類ハ、法案ノ修正ニ這入リマスル方デアリマスルガ、一應御尋ヲ致シマス

○政府委員(藤田四郎君) 境界調査ニ依リマシテ參リマシタ部分ハ、此内ニハ這入リマセヌ、今日ニ於テモ這入ラヌノデス、又此法律ニ依リマシテモ這入ラヌノデス

○(中村彌六君) 先刻ノ第一ニ御尋シタノハ、實ハ遺憾ナガラ要領ヲ得マセヌデゴザイマシタ、已ムヲ得ズ此細文ニ涉ッテ少シク質問シタイト思フ、此法文ニ依リマスルコト云フト、全體從來御取扱ニナッタ、即チ改租以來取扱ニナッタヨリモ、餘程本文ニ於テハ、人民ガ非常ニ權利ヲ失フヤウニナッテ居ルト思ヒマスカラ、之ヲ私ハ伺ヒタイ、ドウ云フ必要ガアッテ此法律ノ精神トシテ、地租改正以後ノ御取扱ヨリモ人民ノ權利ヲ剝奪スルヤウナコトニ相ナッ

タカト云フコトヲ承リタイ、ソレハドウ云フ所デ云フカト云フト、今日マデ地租改正以後ニ於キマシテ、御料ノ森林ノ如キモノハ、皆即チ名稱區別ニ依リマシテモ御料ト云フハナクシテ、即チ御料地ト云フモノハ、官有地第一種ニ組込デアッテ、總テ今ノ所謂國有ト云フモノト更ニ違ヒナク、取扱ッテ來タンデアリマスルガ、此上ニ於キマスルト是ハ取退ケラレテシマッテ居ル、即チ今ノ岐阜縣全體、ソレカラシテ愛知縣全體、靜岡縣全體、神奈川縣全體、山梨縣全體、長野縣幾部分、ソレカラシテ東北ノ方ニモゴザリマスルシ、確カ大分ニモゴザリマシタ、是ダケノ所ニ居ル人民ト云フ者ハ、不幸ニシテ此法律ガ出タタメニ、他ノ人民ハ法律デ此權利ヲ保證シタニモ拘ハラズ、此人民ト云フモノハ、皆無其權利ヲ取ラレテシモウト云フコトニナルノハ、ドウ云フ譯カ分リマセヌ、即チ之ガ第一此法律ニ於テ或ル局部ノ人民ハ非常ナル、詰リ皇室ノ御料ニナッタガタメニ、其權利ヲ殺ガレタ、其結果タル皇室ヲ怨ンデ、事實ノ上ニ於テハ皇室ガ怨府トナルコトガ、之ヨリ生ズラウト思フ、又是ハ一局部ニ對シテ其他從來デゴザリマスレバ、縱令一旦處分ヲ受ケマシタ者ニシマシテモ、新證據發見サヘアリマスレバ、則チ是ハ下戻ヲ請求スルコトガ出來マスガ、此法文ニ依リマスレバ、一旦處分ヲ受ケタル者ハ、即チ其願ッタ者自身ヲ許シタデゴザイマスカラ、此法律文ヲ相當ニ解釋シテ見マスカラバ、新證據ヲ發見シテモ、是ハ最早申請ノ權利ナキモノト見認メルヤウニナリマセウト考ヘマスルコト云フモノハ、第三條ニ至リマシテモ、第三條ニ於テ「讓渡ノ契約ヲ爲シタルモノ云々」是モ事實ノ上デ申シマスレバ、現ニ二十三年頃デゴザイマシタカ、二年頃デアリマシタカ、福岡縣カラシテ願出シマシタコトデ、御調ナサレバ分リマスルガ、士族就產ノタメニ拂下ゲテシマフ、計ラズモ——併シソレガ政府ノ國有ニスベキモノデナカッタ、然ルニ士族就產ノタメニ拂下ゲタカラ、仕方ガナイカラ、國家トシテ其換地ヲヤッタ所ガアル、其權利ヲ認メタル以上ト云フモノハ、即チ國ガ誤ッタカラシテ、國ガソレダケハ補償スルト云フ仕來リニナッテ居ルノハ、今日マデノ行政處分ノ慣例トシテ成立ッテ居ル、併シ若シ此法文ニ於キマシテ、モウ一旦第三者ニ讓渡ノ契約デモ何デモシタモノナラバ、ドノヤウナ權利ガアリトモ、失ッテシマフト云フコトモ出テ來ル、總テノ點ニ於キマシテ、法文上デハ僅ナヤウデゴザイマスルガ、隨分斯ウ云フ關係ガアル、ソレデ其邊ノ點カラ、若シモ之ガ成タケ國有トシテヤラヌ方ノ主意デハナイカト云フ疑ヲ起シテ、御質問ヲ對シマシタ故ニ、サウ云フ趣意カラシテ見マスルコト云フト、第三條ノ「事實ヲ證スルニ十分ナリト認ムルコトキハ」ト云フ事柄ハ、若シ是デハ十分ナダト言ヘバ、法文ニ依ッテドウスルコトモ出來ナイ、證據ニ一ツノ十分ナ所ガアッテ、他ハ九分九厘マデ良クテモ一部分惡クレバイカヌ、十分デナケレバイカヌト云フコトカラシテ言ヘバ、法文ハ立派デアッテモ下戻シテヤラヌト云フコトニナル、此全体カラ見レバ、第一ニ府縣ノ人民ガ最早國有ノ權利ヲ失ッテシマッテ、指サシ一ツ致スコトモ出來ナイコトニナル、サウ

シテ新證據發見ノコトモ何ニモナラス、第三者ノコトモドウモ重大ナ關係デゴザイマス、何ガ故ニ從來ノ取扱ヨリモ斯クノ如ク酷ナル法律ヲ御造リニナリマシタカ

○政府委員(藤田四郎君) 唯今中村君カラ、御尋ノ三箇條ニ附イテ御答ヘ致シマス、御料地ニ就キマシテハ農商務省ノ省令ニ對シマシテ、農商務省ニ對シテ申請スルコトガ出來ナイコトニナリマシタノハ、實ニ其通デアリマス、是ハ大イニ調査ヲシ大イニ攻究シタ結果デゴザンス、抑、明治七年ニ發セラレマシタ所ノ地名區分規則ト云フモノハ、最早憲法實施ノトキニ於テハ殆ド有名無實ナヤウナ形ニナツテ居リマス、法文ニ置キマシテハ、即チ御料ノ地所ト雖モ矢張官有地デゴザンスガ、最早憲法ガ制定セラレテ議會ガ成立チ、官有財産管理規則ガ定リマシタ上ニ於キマシテハ、總テ御料ト云フモノハ國有以外ニ屬シマス、其實體ガ既ニ官有地デナイノデゴザンス、名前ハ官有地ト云フ明治七年ノ規則デ殘ツテ居ルガ、官有財産管理規則ガ其後出來マシテ、此規則ニ依ラナイコトニナツテ居リマス、即チ事業ニ於テ別ナモノデアアルカラシテ、是ハ既ニ一旦御料ニ屬シタモノ、殊ニ其内ニハ世傳御料ニ屬シタモノガアリマス、世傳御料ニ屬シタモノハ、恐レナガラ御上ト雖モ御勝手ニ御處分ナサルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス、其内ニ或ハ中村君ノ御議論ノ如キ場合ニ於キマシテ、下戻ノ場合モアリマセウガ、併ナガラ是ハ最早ヤ今日ニ於キマシテハ、國有以外ニ屬シテ居ルモノデアリマスカラ、今日法律ヲ以テ之ヲ羈束スルコト云フコトデハナイト思ヒマス、元來御料ニ屬スルモノニ附イテハ、總テ其事柄ハ法律ヲ以テ羈束シ法律ヲ以テ彼是スル事柄デナイ、今日マデ法律ノナイ所ニ於キマシテノ扱ヒ振リニ就キマシテ、或ハ一二帝室ノ御料ニ屬シテ居ル所ノ地所ニ就キマシテ、農商務省ノ手ヲ經テ處分シタモノモゴザンスヤウニ思ヒマスガ、是ハ即チ移リ變リノ時代ニ於テ餘儀ナキ事柄デゴザンス、即チ此制度ノ發達行政ノ進歩、其他今日ノ時勢ニ於キマシテハ、ドウシテモ此國有ト云フモノト、御料ト云フモノト、別ナ扱ヒヲスルト云フコトハ、是ハ當然ナケレバナラヌコトデゴザンス、ソレデ中村君ハ岐阜縣若クハ長野縣ノ一部、或ハ愛知縣靜岡縣其他等ニ附イテ民有調査ノナカッタモノニ附イテ、回復ノ途ガナイト云フコトニ附イテ、大變ナ公不公ガアルト云フ御尋デアリマスガ、私ノ見ル所デハ、御料ニ屬スルモノニ附イテハ、非常ニ仕合セデアラダラウト思フ、此民有財産ニナリマス所ノモノハ、即チ御上ノ御處分ニ屬シマスルコトデ、法律以外ニ屬スルモノデアアルカラ、必ズシモ一年二年三年法律ノ條項以外ニ屬スルモノデアリマシテモ、ソレ等ニ就キマシテハ、宮内省ヘ願出テ、一回ナラズ數回ニテモ願出ヅル途ガ開ケテ居ルノデゴザンス、ソレヲ此法律ニ依ルト云フコトニナリマシテハ、却テ官民ノ間ニ於テモ面白クナイノミナラズ、却テ其當ヲ得ナイ、又議會ニ於テ御料ノ財産、又ハ其他御料ノ事柄ニ於テハ、法律デ決スルト云フヤウナコトハ、

甚ダ私共ガ望マヌ所デゴザンス、諸君モ御同感ト思ヒマスカラ、其點ハ特ニ御注意ヲ願ヒタイ、次ニ此處分ト云フ字デゴザンス、是ハ關君ニ既ニ御答ヘ申シマシタガ、總テ法律上ニ於キマシテハ、新ラシイ證據ノ出デマシタモノハ、元ト此處分ト云フモノハ基礎ガアルモノデゴザンスカラシテ、其基礎ニ依ツテ處分スルモノデゴザンスカラ、何遍デモ新ラシイ證據ガ出レバ、處分シ得ラレルモノデアアルカラ、サウ云フヤウニ解釋シマセヌ、次ニ此第一ノ問題ニ附イテ御尋ガアリマシタ、即チ此法律ノ第三條等ニ關聯ヲ致シテ居ルモノデゴザンスガ、是ハ福岡縣ノ例ヲ御引キニナリマシタヤウデゴザンスガ、是ハ當時ハ即チ官有財産管理規則制定ノ以前ニ屬スルモノデゴザンス、今日ニ於キマシテハ、是ハ當時ノ振合ヲ持ツテヤルコトハ出來ナイカト思ヒマス

○(中村彌三君) 尙ホ續イテ今ノ事實ニ附イテ承ハリタウゴザイマスルガ、吾々ハ此下戻法案ト云フモノハ、ドウ云フ精神ノ法案カト云ヘバ、地租改正當時ニ於テ官有——官民有區分ヲ誤ッタ、即チ行政處分ヲ誤ッタカラシテ、ソレヲ直スト云フコトノ精神カラ、新タニ茲ニ斯ウ云フ法律ヲ立テルト云フノデスカラシテ、當時ノ行政處分ヲ誤ッタタルヤツヲ、此法律デ引直スト云フコトデアリマスルガ故ニ、決シテ其現在御料地ニナツテ居リマセウガ、民有地ニナツテ居ラウガ、其當時ノ處分ヲ溯ツテ、之ヲ訂正スル主意デアアル、法律ガ今日新タニソレダケノモノヲ以テ、帝室ノ御財産ノ中デ、特ニ斯様ナモノハ下戻シナサイ、斯様ナモノハ許シナサイ、斯様ナモノハ遣レト云フ制限ヲ加ヘル精神デナイ、今政府委員ノ御答デ見ルト云フト、當時行政處分ヲ誤タルモノヲ訂正スルニアラズシテ、今必要ガアツテ、其事ハ眼中ニ置カズシテ、是ヲ制定ニナルガ如キ説明デゴザイマス、是ハ即チ吾々ガ大變法律ヲ御出シニナル所ノ精神ヲ確メテ置カネバナラヌ、ソレハ大變違フ、甚ダ例ハ適シマセヌカハ知リマセヌケレドモ、若モ犯罪ガアツテナクナツタト云フトキニナツテ、不幸ニシテドウ云フ間違デアッタカ、帝室ノ所有ニ屬シタツテモ、是ハ仕方ガナイ、犯罪上カラ出タ以上ハ、帝室ノ所有ニナツタモノデモ、贓品トシテ裁判上カラ持ツテ來ネバナラヌト同ジ話シデアアル、元ト其精神デアアル、法律ヲ出シタノハ、精神ハ即チ吾々ハ當時ニ遡ツテ今議シテ居ル心持ト、新ニ人民ニ權利ヲ附與スル考トハ、大變違フ、又帝室ノ御料ニ付イテ云々ト云フ大變説明ガゴザイマシタガ、是ハ御質問旁ノ事實ニ付イテ政府委員ニ申上ゲテ置キマス、斯ウ云フ帝室ノコトニ付イテハ、衆議院ニ於テモ注意シテ貰ヒタイ、即チ御料地ノ如キハ、神聖侵スベカラザルモノ、如キ御話デアリマスルガ、サラバ何故ニ政府ニ於テハ前議會ニ於テ森林法ニ贊成ヲ表シナスツタ、森林法ニハ正シク國有バカリデナイ、御料ノ森林デモ皆制限ヲ付シテ、斯ウ云フモノハ伐ルコトハナラヌゾ、斯ウ云フ處ニハ必ズ植エネバナラヌト、人民ノ森林ト同ジヤウニシタ、即チ法律ニ於テ國家ニ必要デアルト云ツタラバ、ソレハモウ已ムヲ得ザルコトデアツテ、政府モ同意爲スツタハ、其趣意デアラウ、森林法ニ於テハ即チ帝室ノコトニ對シテハ、一向何タルコトモ構

ハズニシテ置キナガラ、下戻法案ニ付イテハ、手ヲ著ケチヤナラヌト云フノハ、私ハ其精神ガ分ラヌカ、承リタイ、モウ一ツ今日ノ有様ノ話ヲシマス
ト云フト、静岡縣其他ノ人民ガ御料ノ下戻ヲ願出ルト、權利トシテ願フテ來
テハ、到底受理ガ出來ナイノデアル、歎願ヲシテ御慈悲ヲ以テ斯様ナ風ニシ
タナラバ、受理ダケハシヤウト云フコトニナツタ、全體法律ト云フモノハ農
商務大臣ガ、伊東大臣ノトキニ無闇ニ壓シ付ケラレタノデ、帝室デモ今所有
ト云フモノ、處分スルト云フト却下ニナルガ、直接ニ帝室ト云フモノガ、人
民ノ怨ヲ受ケルモ迷惑デアルカラ、ドウカ農商務ヲ取扱フテ貰イタイ、ト云
フコトデ往復シタケレドモ、省令ヲ一向御料局ヘ相談モナクセラレテ、大イ
ニ迷惑シテ居ルカラ、今ニ元ノヤウニ農商務ヲ取扱フ儀ヲ帝室デモ希望シテ
居ル、直接人民ト權利ヲ爭フト云フヤウナコトハ、厭フカラ今ニ是ハ元トノ
ヤウニナルダラウ、ソレマデ待ツテ居タラ宜カラウト云ウテ、異口同音ニ諸
願書ニ對シテ説明シツ、アル、事實ニ於テモ斯ノ如キモノデアル、デ名稱云ミ
ト云フ話モアリマスケレドモ、現ニ一昨年マデハ省令十三號ノ出ルマデハ、
ズン／＼構ハナク處分ヲ一通リ遣ツテ、帝室デモソレニ對シテ一モ何モナク
シテゴザツタガ、新ニカウ云フヤウニスルト云フモノハ、或ハ當局者ガ累ヲ
避クルトカ云フヤウナ嫌ヒデモアリハセヌカト私ハ恐レテ致シマス、其以上
ハ議論ニナルカラ申シマセヌ、唯尙ホ伺ヒタイノハ、即チ前ニ申ス通り吾
ガ此法律ヲ必要ナリト認メル所以ハ、地租改正當時ノ行政處分ノ誤謬ヲ訂ス
タメニ一時臨時ノ法律ト思フテ居ル、サウ云フ精神デアルカ、或ハ政府ハ新
ニ法律ヲ制定シテ人民ニ權利ヲ付與スル精神カ、承リタイ

○政府委員(藤田四郎君) 唯今中村君ノ御尋デゴザンスルガ、此御料ノ事ニ
付キマシテノ御尋デゴザンスルガ政府ニ於テハ、森林法ノ時ニハ御料林云ミ
ノコトニ付イテ異議ガナカッタト云フコトデゴザンスルガ、固ヨリ絶對ニ何
事モ御料ノコトニ付イテ云ハレヌト云フコトヲ申シタノデハゴザンセヌ、併
ナガラ森林法ヲ制定致シマスルトキニハ、御料林ノコトニ付キマシテハ、共
ニ一體ヲ保護スルト云フコトニ付イテ、宮内省ト話合フ致シタ上デ提出致シ
マシタ、此法律ニ付キマシテハ、未ダ其運ビニ至ツテ居リマセヌ、又此官民
有ノ區分云ミニ依リマシテ、即チ當時ノ過失ヲ訂スコトデアアルカナイカ、然
ラバソレガイツレノ財産ニ歸シテモト云フコトデゴザンマスルガ、政府ニ於
キマシテハ國有ノ森林原理ニ付イテ處分ヲスル方法ヲ規定スルノデゴザン
スカラシテ、政府ニナイ處ノモノニ付キマシテ、ドウモ此法律ニ規定シ得ル
ト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレデゴザンスルカラ、是ニ載ラヌ譯
デゴザンマス、又其法律ヲ出シマスルニ付イテ、總テ何事モ其當時ノ有様ト
云フコトニ成リマスレバ、固ヨリ臨時ノモノハゴザンセヌシ、又處分スル法
律ヲ立テル以上ハ、幾分か此處分ノ都合ト云フモノモ考ヘナケレバナリマセ
ヌ、即チ其結果トシテ斯ノ如キ案ガ編成セラレタ譯デゴザンマス
○(首藤陸三君) チョット伺ヒマス、第二條第三條等云ミガアリマシタガ、

固ト國有森林原理下戻ノ法律デアアルノデ、然ルニドナタカノ御尋ネニナリマ
シタ通り、唯下戻ノ手續ヲ爲スト云フニ至ツテ、薄弱ナル意味デ御提出ニ成
タヤウニ考ヘル、ソレデ下戻法案ノ中ノ第一條ナリ第二條ニ至リマシテ、是
是ノ列記シタル證據アルモノハ、官之ヲ認定シテ是ヲ下戻スト云フ所ノ方針
ニナランケレバナラヌノニ、第二條ト云ヒ、第三條ト云ヒ、其所有又ハ分收
ノ事實ヲ證スルニ十分ナリト認ムルトキハ、ドウ斯ウトアル、然ルニ此列記
法ハ高受トカ或ハ納稅シタル證據アルモノト書イテアリマス、是ニ該當セ
ルモノハ下戻ス、該當シナイモノハ固ヨリ下戻スベカラザルモノトアリマス、
カラシテ行政處分ニ事實ヲ證スルニ十分ダト認メルモノト云フ必要ト云フモ
ノハ少シモナイヤウニ考ヘマスガ、又逐條ニ涉ルヤウデアリマスガ、第五條
ニ「公用又ハ社寺境内ニ供シタル土地森林原野若ハ立木竹ハ下戻ヲ爲シタル
後ト雖モ無償ニテ其公用又ハ社寺境内ニ供セラル、モノトス」トアル、是ハ
ドウ云フ意味デアリマス、例ヘバ公用ヲ廢シタル後ニアラザレバ、權利ヲ行
フコトヲ得ナイト云フ意デアアルカ、下戻シタト言ヘバ、下戻シタト云フ事實
ハ少シモナクナツテ來ルヤウナ、更ニ意味ノ分ラヌヤウニモ思ヒマスガ、ソ
レカラモウ一箇條ハ中村君ノ質問ニモアリマシタガ、官デ以テ誤謬ガアツテ、
錯誤ノアツタトキハドウスルカ、例ヘバ甲ノ人ヘ下戻スベキモノヲ、ソレヲ
誤ツテ、官ガ乙ノ人ヘ下ゲタト云フヤウナ誤謬ト云フコトハ、官ガ錯誤シタ
トキニハドウスル、必ズ官ハ錯誤ト云フコトハナイト云フコトデアリマスガ、
マア下戻スト言ヘバ錯誤モ自然ト生ズル、其錯誤ヲシタトキハドウスルト云
フ御尋デアリマスガ、是等ノコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君) 御答シマスルガ、此第二條ノ書キ工合、第三條等
ニ就イテ段々ノ御説デゴザンマスガ、舊ト先刻申上ゲマシタ通り、第一條ニ
依ツテ此權利ト云フ利益ト云フモノ、保障ト云フモノガ付イテ居ルノデ
アリマス、或ハ十分ト云フ字ガ有リ過ギルタメニ、ドウスルト云フコトデア
リマスガ、是ハ何レニナリマシテモ、詰リ衆議院デ修正セラレタ、詰リ先年
案ニアリマシテモ同ジコトデ、其當時ノコトニナレバ、或ハ民有ト認ルモノ
ナラバドウスルトカ、認メルトナレバ矢張り官ト見ルノデ、認メヌトキハ民ニ
ナル、ソレ等ノコトハ實際ニ違ヒガナイ、ソレカラシテ次ギハ第五條ノ所ヲ、
矢張り議會ニ出マシタトキニモ決セラレマシタ所ノ趣意デアリマシテ、唯文
字ノ體裁ガ少シ違ヒマシタダケデ、事實ニ依リマシテ即チ公用ニ屬シタ所ノ、
即チ公ケノ用ニ使ツテ居ル所ノモノヲ錯誤シタモノニ於テハ、錯誤ニ屬シタ
モノヲ悉ク期限ガ過ギ去ラナケレバ、下ゲ戻シタ人ニヤツテ仕舞ウト云フコ
トハ出來ナイカラ、ソレ等ノコトヲ言ヒマシタノデ、是ハ錯誤ノアツタトキ
ハ取消シヲ得ラル、事柄ト思ヒマス
○(佐々木正藏君) 原野法ノ十七條、先刻藤田君ノ御説明ニ附イテ、出水君
ガ提案ニナツテ居ル法案ニ附イテハ、土地ノ即チ主物ヲ持ヘル趣意デアアルカ
ラ、絶對的ノ反對、斯ウ云フコトヲ明カニ御説明ニナツタノデ、デ或ハ此原

野法ノ十七條ニ書イテアル趣意ヲ考ヘテ見マスルト、大體彼ノ社寺林ノ土地處分ト云フコトハ、誠ニ此明治ノ初年ニ當ツテ、五六年頃ニ當ツテ彼ノ處分ヲヤツタト云フノハ、今カラ考ヘテ見ルト斷暴ノ處分デアル、ソレガタメニ我國デ最モ貴重ニナツテ居ル所ノ名所舊蹟ノ社寺林モ、ソレガタメニ廢類スル、是ハドウカ其方法ヲ能ク講シテヤラナケレバナラヌ、ソレニ就イテハ或ハマア種々ナ問題モ、社寺保存會トカ何トカ云フヤウナコトモ、別段ニ出來ルヤウナ次第デアル、ソレデドウモ此社寺林ノ今ノ儘デ、少シモ此社寺ノ保護ニ就イテ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、絶對的ニ不用デアルト云フ意味ニ涯分取ラレヌノデアル、デ若シサウ云フ御趣意デアルカ、若クハ其別ニ社寺林ノ處分法ト云フモノガ法案トナラナクテモ、第十七條ニ依ツテ其保護上必要ノ場合ニハ云々ト云フ事カラシテ、社寺ニ此林野產物ヲ與ヘテ、其社寺ノ保存ヲ適當ニ爲サシメテ行クト云フコトハ、此中ニ含ンデ居ルト云フ意味デアルカ、先刻ノ御答辯デハ、モウ社寺ニ其山林ノ利益ヲ與ヘルト云フコトハ、絶對的ニ反對ト云フ意ニ聞エタノデアリマスガ、其點ニ就イテ尙ホ一應御説明ヲ……

○政府委員(藤田四郎君) 唯今佐々木君ノ御尋デアリマスガ、私が言ヒマシタノハ、随分明ニ申上ゲタ積リデアリマシタガ、少々御聽キ損ナイノヤウデアリマスカラ、尙ホ申上ゲマスガ、原野法ノ十七條ニ依リマシテ社寺上地ノ森林ト云フモノハ、即チ社寺ノ保護ヲ依トスルト云フ方針ヲ、爰ニ明記致シマシテ、現行ノ即チ省令デ出テ居リマシタ所ノ規則ガ不完全デゴザリマシテ、又社寺ニ取リマシテ甚ダ氣ノ毒ナ譯デアリマスカラ、社寺ニ於テ社寺ノ保存ヲ取ルト云フ積リデ申上ゲタノデ、ソレヲ尙ホ委シク申上ゲマスレバ、出水君ノ案ノヤウニシマスレバ、社寺ニ保管サセル、保管サセルトシテ其保管シタ所ノモノハ社寺ガ權利トシテ保管スルト云フ方法ニナツテ居ル、而シテ保管シテ官ハドレダケノ場合ニ於テ、社寺ニ對シテノコトガ出來得ラル、カト云フト、官ニ供スル材木ヲ伐ル部分ニ付イテダケヨリ官ハ出來ナイト云フコトニナル、則チ特別社寺ニ保管サセテ、サウシテ社寺ハ無稅デ總テ伐ルコトカラ何カラ出來テ、ソレヲ私有スルコトニナルデアリマシテ、是ハ固ヨリ其保護スルト云フニ付イテハ、出水君ノ案ニ付キマシテモ、ソレノ規則ガアリマスガ、實際ニ於キマシテ其案ニ付イテハ、政府ガ唯ヤルヨリハ又酷ヒ案デアリマスルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、即チ政府ガ寧リ之ヲ社寺ニヤツテ仕舞ツタ方ガ、マダ國家ニ利益ニナルガ、唯無制限ニ無稅デ借スト云フコトハ、ヒドイト云フコトヲ申上ゲタノデ、而シテ政府ノ今日調ベタ所ハ、佐々木君ハ私ヨリモ委シイダラウト思ヒマスガ、今日アリマスル所ノ三萬有餘ノ上地林ト云フモノ、四萬近イ箇所ガ、其内ニ僅ニ千八百ノ箇所ト云フモノハ、國家經營上國土保安上森林經營上存續スルノ必要ガアリマス、ケレドモ其他ノ三萬幾千ト云フ箇所ハ、皆政府デ持ツ必要ノナイ地面デアリマス、故ニ是ハ特別ニ社寺ニ拂下ゲルノ途ヲ取ルト云フ——方針ヲ執ルト云フ

政府ノ趣旨デゴザイマシテ、尙ホ其一千何百箇所ト雖モ、即チ社寺ニヤラナイ所ト雖モ、尙ホ社寺ヲシテ之ヲ保管スルノ途ヲ得、尙ホ其保管スルニ於テハ、主產物副產物幾分ヲ其社寺ガ利用スル途ヲ取ルト、斯ウ云フ趣意デアリマス

○(松島廉作君) 私モ少シ許リ御尋ヲシタイ、私ハ主トシテ此御料局ノコトニ就イテ御尋ヲスル考デ居リマシタガ、餘程中村君ノ御尋デ政府委員ノ答辯ヲ得マシテ分リマシタカラ、私ハ唯二三點伺ツテ置キマス、唯政府委員ハ御料地ニ屬シテ居ル所ノ……寧ロ此法律ヲ以テ支配サレルモノヨリハ幸福デア、斯ウ云フ御言葉ガアリマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ、今マデニ願ハナケレバナラヌ制限モナク、又民法上ナドノ事項ニモ關係ヲ有タナイ譯デア、ルカラト云フコトデアリマス、ガ免ニ角是ハ餘程利害ノ關係ノアルモノデアリマスガ、唯今政府委員ノ御答ヘラレマシタノハ、政府委員一己ノ御意見デアリマスガ、或ハ又サウ云フ農商務省、或ハ又政府ニ於テ確メ得ル所ガアッテ御答ニナリマシタカ、ソレヲ一ツ伺ツテ置キマス

○政府委員(藤田四郎君) 其事ニ就キマシテハ、私が宮内省ノ御方針ヲ御答スルト云フ譯ニハ參リマセヌガ、併ナガラ私ノ見マスル所ニ依リマシテハ、宮内省ニ於テ將來省令ト云フヤウナモノヲ御發シナサラヌ間ハ、何時マデモ省令ヲ發セラレテ定メラレマスレバ別デアリマスガ、ソレガナイ以上ハ、其等ニ付イテ帝室ガソレノ處分セラレルガ當然、又處分セラレルコト、確信シテ居マス

○(松島廉作君) ソレハアナタ一己ノ御見込ガ、サウデアルト云フコトデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ宮内省ノ事柄ヲ此處デ御答スル譯ニハ往キマセヌガ、サウアルベキコト、確信致シテ、農商務省ニ於テモサウ認メマス

○(松島廉作君) サウ致スト、民法ニモ據ラズ、無論此法律ニモ據ラヌ譯デアリマスカラ、若シ申請シテ開届ケラレナイ時分ハ、ソレマデノコトデ仕方ハアリマセヌカ

○政府委員(藤田四郎君) 農商務省ノモノナラ行政裁判所ヘ往キマスガ、帝室ニ於キマシテハ、ソレガナイカラ仕方ガナイ

○(首藤陸三君) 尙ホ伺ヒマスガ、御料ニ屬シテ居ル土地原野森林ニハ此法律ヲ適用スルト云フコトハ農商務ノ御權能ニハナイト云フ意味デスカ

○政府委員(藤田四郎君) 國有林野デゴザイマセヌカラ、農商務省ニ於キマシテハ處分スル途ガゴザイマセヌ

○(中林廣太郎君) 此質問ハ一度ヤ二度デハ終リマセヌカラ、ソレニ昨日出シタ議案ニ付イテモ對照シナケレバナラヌ、是ニ付イテハ逐條ニ涉ツテ御尋ヲシタイコトガアリマスカラ、今日ハ此邊デ……

○(高岡忠郷君) 質問ハ止メマシテ、私ハ茲ニ取調ヲ求メテ置キタイノハ、下扨ニ關スル所ノ出願ノ件數デアリマス、ソレガ今日ハ最早御纏メニナツテ居

ルト思ヒマスカラ、當初以來縣廳ニ提出ヲ致シマシタ所ノ年度、今日農商務省へ受付テ居リマス年度、之ヲ今日マデ出願致シマシタモノ、及ビ下戻ガアツタ數ガ分ツタラ年度別ト、御取調ノ上此次ノ會マデニ御廻シテ願ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君) 農商務省ニ於キマシテ、處分シタ件數ハ分リマスガ、明治十九年二十年頃ノ縣廳デ受付ケタ數、年度別等ニ至ッテハ大分調査ガ複雑ニナリマス、如何デス、モウ少シ二十三年頃トカ、二十五年頃トカ致サレテハ……

○(出水彌太郎君) 私モ調査ヲ願ヒタイ、此中ニ社寺林ノ反別ト依托ノ數ガ出テ居ル、今全體ニ關シテ上地林ト社寺上地林ノ箇所——ソレニ對スル收入ヲ……

○(中村彌六君) 私モ次ノ會マデニ確メテ置キタイ、面倒ナ調査デハナイ、私ノ請求ハ先刻此政府委員ノ話ニハ、森林法ノ時ハ御料局ト打合ヲシテ置イタガ、今度ハ打合ヲシナイト云フコトデアッタ、實ニ五百有餘萬ノ人民ニ關係スルコトデアルカラ、サウ云フ粗雜デナクテ、此次マデニ農商務大臣ヨリ帝室へ御交渉下スツテ、斯様ナコトハ法律デ定メテ、同意デアルカ異議ガナイカト云フコトヲ御確メヲ願ヒタイ、其御報告ヲ待ッテカラ……

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ御請求トアリマスナラ、大臣ガ何レトカ考ヘマスガ、私ハ打合スベキ性質ノモノデハナイト思ヒマス

○(中村彌六君) 私ハ打合スベキ性質ノモノト思ヒマス、請求ニ應ジテナサラヌケレバ、ソレマデミスガ、打合スベキモノト思フ、決シテ門前拂ヒヲ受ケベキモノデナイ

○委員長(杉田定一君) 今日ハ是デ散會致シマス

午後三時三十八分散會

明治三十二年二月五日印刷

明治三十二年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局